



ミツバチを飼育する方々へ

春から秋にかけて
クマの活動が活発化します！

被害を防ぎ、地域の安全を守るため、
巣箱周辺のクマ対策をお願いします！



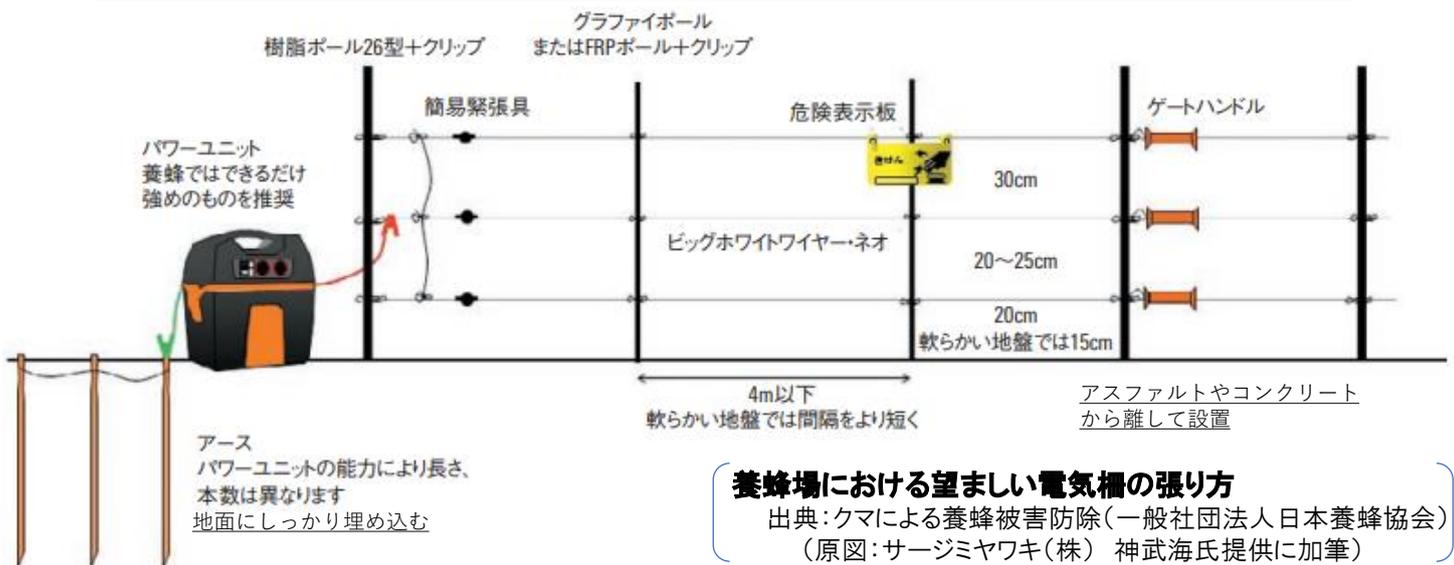
近年、クマの分布域は拡大しており、里地・里山を含む樹林地が生息域となっています。クマにとって、蜜が集積している蜜蜂の巣箱は魅力的な存在です。そのため、これらの地域ではどこに巣箱を置いてもクマ被害に遭遇する可能性が高くなっています。

クマを人里に近づけないようにするため、**巣箱の周囲を電気柵で囲う**などの対策を実施することが大切です。

クマは一度加害した蜜箱に執着するため、侵入を防ぐことが困難化することから、未然に囲っておくことが重要です。

**どんな設置場所であっても、
蜂場を電気柵で囲うのは必須対策です！！**

※電気柵は適切な設置と管理が重要です※



■ 電気柵の設置と併せて行う主な対策

- ・ 電気柵の適切な維持・管理（漏電防止、24時間通電）
- ・ 蜂場の周囲の樹木の伐採・枝払い（木を伝った侵入防止）や放任果樹や生ごみの除去（誘引防止）など

■ 民家や住宅地の周辺で養蜂を行っている方は、
巣箱を設置していることを、地域の方に周知しましょう。



参考文献：クマによる養蜂被害防除（一般社団法人日本養蜂協会）

作成 広島県農林水産局畜産課